

報告 1 山北地域交通の実証運行状況及び 山北地域公共交通実証運行の実態調査概要報告

※令和5年10月1日から1年間実証運行を実施

●山北地域交通の実証運行状況

【令和5年10月～6年4月までの利用実績】

1 路線バス（新潟交通観光バス㈱への委託事業）

〈大毎・鼠ヶ関線〉

運行日数（延べ）：	169日
運行便数（延べ）：	1,521便（1日9便）
利用者数（総数）：	3,357人
（1日平均）：	19.9人
（1便当り）：	2.2人

〈雷・勝木線〉

運行日数（延べ）：	169日
運行便数（延べ）：	1,154便（1日：平日7便、土曜6便）
利用者数（総数）：	2,717人
（1日平均）：	16.1人
（1便当り）：	2.4人

2 自家用有償旅客運送 【愛称『さんぼくん』※公募し令和6年3月に決定】

（NPO法人おたすけさんぼくの自主事業）

① 利用登録者数	143人
② ドライバー登録者	23人
③ 運行延べ件数	564件（片道1件で集計）
④ 利用者延べ人数	672人（片道1人で集計）
⑤ 利用実人数	194人
⑥ 目的別利用件数	
帰宅	329件
医療機関関係	174件
金融機関	45件
買い物	35件
駅	19件
その他	70件

●山北地域公共交通実証運行の実態調査概要報告

1 調査概要

(1) 受託業者 特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター

(2) 調査期間 令和5年11月1日～令和6年1月31日

(3) 調査内容

①利用者アンケート

1) 自家用有償旅客運送事業（ボランティアタクシー）登録者アンケート

- ・調査対象者：自家用有償旅客運送事業利用者
- ・調査方法：調査票の郵送配布～郵送回収
- ・回収票数：77票
- ・調査内容：利用状況や便利な点・不便な点、改善して欲しい点など

2) 路線バス利用者アンケート

- ・調査対象者：路線バス利用者
- ・調査方法：調査票の配布～回収
- ・回収票数：41票
- ・調査内容：便利さの変化や改善してほしい点など

②交通事業者ヒアリング調査

1) 新潟交通観光バス

- ・調査方法：聞き取り調査
- ・調査内容：利用者の声や運行上改善すべき点など

2) NPO法人おたすけさんぼく

- ・調査方法：聞き取り調査
- ・調査内容：利用者の声や運行上改善すべき点など

③集落ヒアリング調査

- ・調査対象者：各集落の民生委員8名
- ・調査方法：聞き取り調査
- ・調査内容：利用しない人のニーズなど

2 調査結果を踏まえた課題の整理とあり方の提案（受託業者より）

No.	現状・利用者のニーズ	提案
■路線バスについて		
1	土日も運行して欲しい。	運行に係る費用や利用実績を踏まえて今後も検討を続ける。(令和6年10月変更目途)
2	大毎線の8時より前の便と16時台の便がなくなったことで、通勤ができなくなった。	
3	雷線からマックスバリュに行くためには乗り継ぎが必要だが、府屋駅は寒い。まちなかで安心して待てる場所が必要。	商工会など多様な主体の協力により、街なかの待合スペースを整備する。
4	JRとの接続を改善して欲しいという声がある。	具体的な乗り継ぎ便の確認が必要。
5	マックスバリュに午後も行きたい。1日2往復あるといい。	運行に係る費用や利用実績を踏まえて今後も検討を続ける。(令和6年10月変更目途)
6	伊呉野の経由をなくす。	

■自家用有償旅客運送事業（ボランティアタクシー）について

1	チケットの事前購入が大変。	チケット制はドライバーにとっては安心につながるため、今後も継続する。民生委員らによる代行や利用時にドライバーが持参するなどの対応を充実させる。
2	ボラタクの名簿を民生委員に共有してもらえれば、登録していない人に声をかけることができる。	民生委員との現状の共有をする場を定期的に設ける。
3	前日予約が不便、当日に予約したい。	午後は当日の午前中に予約を受けるようにするかは、もう少し利用状況を見て判断する。
4	ちょっとした立ち寄りをできるようにして欲しい。	利用者が1人の場合は無理のない範囲で対応する。

■その他

1	タクシーが復活したことを知らない人もいる。	総代や老人クラブ等各種団体の会合等で積極的な周知を今後も継続する。
---	-----------------------	-----------------------------------